

高知県立あき総合病院 オプトアウト書式

申請番号 (2022-8)	
研究課題名	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
研究目的及び方法 (情報利用の目的及び 利用方法、他の機関 へ提供する場合はその 方法)	<p>本研究は、特定非営利活動法人日本脆弱性骨折ネットワークが行う『日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成』に基づき、同事業の研究協力機関として実施する。</p> <p>大腿骨近位部のデータベースを構築し、国際的な比較を行うことで、日本における治療の特色や課題の検討を行う。また、その結果に基づいてガイドラインを反映させた体系的治療を提案する。日本における大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、脆弱性骨折の発生減少や高齢者の日常生活動作レベル低下予防を目指す。</p>
利用、提供する情報の項目など	性別、年齢、骨折側、病的骨折、骨折のタイプ、術前全身状態 ASA-grade、術前簡易認知テスト、受傷日時、来院日時、手術情報、入院中の生存情報、褥瘡、肺梗塞、内科医の関与、入院期間、骨粗鬆症治療の有無、退院先、退院日時、フォローアップ情報 (30 日目、120 日目、365 日目) の再入院、再手術、術後骨折の有無、生存状態、活動性、住居、骨粗鬆症治療の有無
対象及び対象(研究)期間	(登録期間及び対象) 当院で 2022 年 12 月 1 日から 2032 年 3 月 31 日までの間に、当院で大腿骨近位部骨折の入院治療を行った患者 (研究期間) 2022 年 12 月 1 日から 2033 年 3 月 31 日まで
利用する範囲	通常診療の過程で発生したデータ (既存の情報) を提供する。
個人情報の取り扱いについて	データセンターへのデータ提供は、匿名化された情報のみ提供し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行う。対応表は当センターの診療情報管理室が保管・管理する。
共同臨床研究機関、情報の提供先、研究責任者	日本脆弱性骨折ネットワーク 理事 荒井 秀典
当院の研究責任者	整形外科 副医長 出口 奨
問い合わせ先	〒784-0027 高知県安芸市宝永町 3 番 3 3 号 高知県立あき総合病院 Tel0887-34-3111 整形外科 副医長 出口 奨
備考	